

島の味 サプリ ちゅん ちゅん 島

スポーツミネラル代表 眞玉橋 麻紀

沖縄生まれの「甘い塩」にプロスポーツや学校関係者の注目が集まっている。不足しがちなミネラルを補い、熱中症も予防する「スポーツミネラル」。美(ちゅん)ら海の恵みの塩に、やはり県産の黒糖をブレンドした素朴な味わいの粉末サプリメントだ。商品化したのは三人の娘の母でもある眞玉橋麻紀(36)だ。日ごろから子供の体調を思いやる母親らしいちょっとした工夫を、島育ちならではの自然体の起業スタイルで開花させた。



原料は沖縄の豊かな海がはぐくんだミネラル豊富なブランド塩「ぬちマース」と、やはり県産の黒糖だけ。商品名は直球勝負の「スポーツミネラル」。

程よい塩気を黒糖の芳香が彩る「甘じよっぱい」味わいだ。四十四袋(二袋二・五g)入りで二千円。運動の前後に飲めば、汗で失わ

れるナトリウム、カリウム、カルシウムや鉄分など各種ミネラルをバランスよく補える。

この「甘い塩」を生んだのは、眞玉橋の主婦ならではの発想だ。教員で高校野球指導者でもある夫の転勤で暮らし

た宮古島で、真夏のある日、十人もの選手が練習中に倒れた。熱中症だったが、慢性的なミネラル不足が引き金だった。お母さんたちは栄養価も考えて料理に野菜も多めに使っている。でも野菜そのもののミネラル分が昔より減ってしまっているんですね」

もともと良質な塩を多く産出する沖縄では、熱中症の予防に塩をなめさせる習慣がある。例の練習時も「ぬちマース」を用意していたが、子供たちには塩だけでは辛くて不評。「それなら、と沖縄の黒糖を混ぜてみた。結果、受けは上々で、熱中症で倒れる子供もなくなった。そんな「内助の功」的なひと工夫を手に本島に戻ってから、商品化の計画が動き出した。衛生面への配慮からパックに小分けできないか、との着想がきっかけだ。だが個人から受注するパッケージ業者

が県内にはない。県外に頼むと一包十円ものコスト。定期的を買ってくれる学校チームは三、四校に増えていた。少しでも安く、と閉め切った自宅を一日二、三百包をひたすら手詰りする毎日が続いた。転機は二〇〇三年春。プロ野球・中日ドラゴンズが北谷町で張ったキャンプだ。「塩と黒糖で作ったサプリメント」と球団のチーフトレーナーに直談判して試用を勧めた。有名人が使えばみんな安心して買ってくれる。そんな思いから、沖縄でキャンプをする球団を回った。まったくの個人がよく、と後に取引業者にあきられたが、実は各球団ともポイントが拍子抜けするほど簡単。各球団のキャンプ地の役所が窓口となっていて橋渡ししてくれた。中日側は「いいよこれ。疲れたがまらないし、けいれんもなくなったよ」と手放しの評価。キャンプ打ち上げのころ、正式受注が決まった。プロに供給するなら会社組織にした方がいい、とあわてて会社設立の準備に走った。一円起業の解説本でわか勉強。法務局に書類をつき返されながらも、司法書士のおじを頼って登記を済ませた。社員は代表者の眞玉橋を含めて四人。営業担当にはスポーツ関連の事情に詳しく、会社経営の経験もあるシニア男性を高校野球の知己をたどって迎え入れたが、女性社員二人はハローワークで募った。青が基調のパッケージデザインもパソコンが得意な社員の手製。「みんなお母さん。行動力ありますね」

塩・黒糖でミネラル補給



原料は沖縄県産の天然物だけ。「現役の母親として今後も添加物は使うつもりはない」という

高校生が運動中に倒れたのを見て思い立つ／プロ野球チームが採用

強みは生まれ育った沖縄の原材料にこだわり、絶大な信頼を寄せる点。「ぬちマースは結晶内にかかりを封じ込める特殊技術を利用」「沖縄のサトウキビは海風が運ぶミネラルを取り込んで育つ」と商品説明の言葉に迷いが無い。県工業連合会に入り、県産品マークの使用権も得た。

添加物や天然ではない原料を使うつもりは今後もない。現役の母親の自負でもある。子を持つ親として良いことをしている、との信念があるから「売った時にも悪い気持ち

にならない」。十歳を筆頭に八歳、五歳と三人の娘を育てるのは大変だが、一段落したら仕事をしたいという思いがあった。もっとも、商売の経験はない。沖縄に特有の密な人間関係が味方をした部分もある。

顔見知りの教師をたどった営業を通じ、気後れを感じることなくビジネス感覚を磨けることになった。きつとかわいそうと思われていた(笑)。慣れないでしよ、と言いつつ何人も紹介してくれたという。主婦の口コミも大きな力。運動

係からの直接受注も、二〇〇三年三月起業した「合資会社スポーツミネラル」の本拠・沖縄市などで百五十チームに上る。県内では「マックスバリュ」など量販店やスポーツ用品店などに扱っても拡大。〇四年には神戸市内に代理店も置くなど県外展開も始まり、二〇〇四年十月期には千数百万円を売り上げた。

「塩と黒糖で作ったサプリメント」と球団のチーフトレーナーに直談判して試用を勧めた。有名人が使えばみんな安心して買ってくれる。そんな思いから、沖縄でキャンプをする球団を回った。まったくの個人がよく、と後に取引業者にあきられたが、実は各球団ともポイントが拍子抜けするほど簡単。各球団のキャンプ地の役所が窓口となっていて橋渡ししてくれた。中日側は「いいよこれ。疲れたがまらないし、けいれんもなくなったよ」と手放しの評価。キャンプ打ち上げのころ、正式受注が決まった。プロに供給するなら会社組織にした方がいい、とあわてて会社設立の準備に走った。一円起業の解説本でわか勉強。法務局に書類をつき返されながらも、司法書士のおじを頼って登記を済ませた。社員は代表者の眞玉橋を含めて四人。営業担当にはスポーツ関連の事情に詳しく、会社経営の経験もあるシニア男性を高校野球の知己をたどって迎え入れたが、女性社員二人はハローワークで募った。青が基調のパッケージデザインもパソコンが得意な社員の手製。「みんなお母さん。行動力ありますね」

受注が増えるのにつれて生産能力の拡大を迫られた。当初は沖縄が返還された一九七二年製造の廃棄寸前の梱包機を取引先ので譲り受けて使ったが、故障。沖縄県産業振興公社の助成を使って梱包機を導入し、自宅の庭のプレハブを工場に日産二万包の体制を整えた。「このまま行けるところまで行って、後はその時考えればいいさ」。

娠中でも飲める天然サプリメントには、こんな一文がさりげなく印字されている。「10 Kids power presents」。あの宮古島の夏の日、相次いで倒れた夫の教え子たちだ。「今はもうみんな立派な社会人なんですけどね」



スポーツショップに並ぶ「スポーツミネラル」(沖縄市のIWS)とその中身

文 天野賢一
写真 渡辺信雄

母の味



スポーツミネラル代表 眞玉橋 麻紀

沖縄生まれの「甘い塩」にプロスポーツや学校関係者の注目が集まっている。不足しがちなミネラルを補い、熱中症も予防する「スポーツミネラル」。美(ちゆ)ら海の恵みの塩に、やはり県産の黒糖をブレンドした素朴な味わいの粉末サプリメントだ。商品化したのは三人の娘の母でもある眞玉橋麻紀(36)だ。日ごろから子供の体調を思いやる母親らしいちょっとした工夫を、島育ちならではの自然体の起業スタイルで開花させた。

原料は沖縄の豊かな海がはぐくんだミネラル豊富なブランド塩「ぬちマース」と、やはり県産の黒糖だけ。商品名は直球勝負の「スポーツミネ

ラル」。程よい塩気を黒糖の芳香が彩る「甘じよっぱい」味わいだ。四十四袋(一袋二・五g)入りで二千円。運動の前後に飲めば、汗で失わ



まだんばし・まき 1968年沖縄県浦添市生まれ。91年沖縄国際大学社会学科を卒業後、教職に。94年結婚後、夫の転勤で宮古島に暮らす。塩と黒糖を原料に自ら考案した栄養補助食品を製造・販売する合資会社スポーツミネラルを沖縄市に2003年3月設立し代表者に就任。家庭では3女の母親でもある。

れるナトリウム、カリウム、カルシウムや鉄分など各種ミネラルをバランスよく補える。

この沖縄発の「天然素材サプリメント」が今、プロアマ問わずスポーツ関係者の注目を集めている。

選手の体調管理に採用したプロ野球チームは中日、横浜、ヤクルト、巨人、楽天と五球団。また少年野球など学校関

係からの直接受注も、二〇〇三年三月起業した「合資会社スポーツミネラル」の本拠・沖縄市などで百五十チームに上る。県内では「マックスバリユ」など量販店やスポーツ用品店などに扱っても拡大。〇四年には神戸市内に代理店も置くなど県外展開も始まり、二〇〇四年十月期には千数百万円を売り上げた。

この「甘い塩」を生んだのは、眞玉橋の主婦ならではの発想だ。教員で高校野球指導者でもある夫の転勤で暮らした宮古島で、真夏のある日、

ミネラル補給

十人もの選手が練習中に倒れた。熱中症だったが、慢性的なミネラル不足が引き金だった。お母さんたちは栄養価も考えて料理に野菜も多めに使っている。でも野菜そのもののミネラル分

が県内に一包十円も買って三、四校にでも安く、で一日二、手詰りする。転機は「野球・中口町で張った「塩と里です」と球ナーに直談判。有名人心して買いた。いから、沖縄の全球団をの個人がト者にあき球団ともアけるほど。ヤンプ地のて橋渡しを中日側はれがたまらもなく。評価。キャろ、正式プロに併織にした方て会社設立一円起業の強。法務局

天然ミネラル補給食に脚光

黒糖と塩など県産品原料に

スポーツミネラル

「スポーツミネラル」で、沖縄の目玉製品に迫ってみたい。

「スポーツミネラル」で、沖縄の目玉製品に迫ってみたい。

「スポーツミネラル」で、沖縄の目玉製品に迫ってみたい。

スポーツミネラル(沖縄)が手がけるミネラル食品「スポーツミネラル」(ドラゴンズの選手)の体調管理に効果が見られ、愛用する選手が増加しているとの名

古厚のマスコミで紹介されたから、現在では県内の高校の野球やバスケットボール、ハンドボール、駅伝、陸上各部の選手たちにも愛飲されているという。内容量は2・5gで三方

「スポーツミネラル」は水分と同時に黒糖と塩の塊を手にして味見し、高校の野球部を指導する夫から熱中症で選手が倒れることを聞いていたため、ひらめいたもの。も

を試行錯誤する中、商品登録、特許申請を行い、昨年3月会社を設立した。キャンプ中の中日ドラゴンズにもサンフルを直接持参し、プロのトレーナーも認める製品となり、あまりの反響の高さから当初は手で充填していたのが、追いつかず、不要の中古の機械を導入したが機械性能の低さなどもあって追いつかず、地元のパッケージメーカーなどの協力を得て1日2万パックの量産化にこぎつけ、それでも不足するため増設の検討も行うはず。

「スポーツミネラル」は水分と同時に黒糖と塩の塊を手にして味見し、高校の野球部を指導する夫から熱中症で選手が倒れることを聞いていたため、ひらめいたもの。も

「スポーツミネラル」は水分と同時に黒糖と塩の塊を手にして味見し、高校の野球部を指導する夫から熱中症で選手が倒れることを聞いていたため、ひらめいたもの。も

「スポーツミネラル」は水分と同時に黒糖と塩の塊を手にして味見し、高校の野球部を指導する夫から熱中症で選手が倒れることを聞いていたため、ひらめいたもの。も

「スポーツミネラル」は水分と同時に黒糖と塩の塊を手にして味見し、高校の野球部を指導する夫から熱中症で選手が倒れることを聞いていたため、ひらめいたもの。も



眞玉橋麻紀社長

「スポーツミネラル」は水分と同時に黒糖と塩の塊を手にして味見し、高校の野球部を指導する夫から熱中症で選手が倒れることを聞いていたため、ひらめいたもの。も

「スポーツミネラル」は水分と同時に黒糖と塩の塊を手にして味見し、高校の野球部を指導する夫から熱中症で選手が倒れることを聞いていたため、ひらめいたもの。も

「スポーツミネラル」は水分と同時に黒糖と塩の塊を手にして味見し、高校の野球部を指導する夫から熱中症で選手が倒れることを聞いていたため、ひらめいたもの。も

「スポーツミネラル」は水分と同時に黒糖と塩の塊を手にして味見し、高校の野球部を指導する夫から熱中症で選手が倒れることを聞いていたため、ひらめいたもの。も



「スポーツミネラル」

「スポーツミネラル」は水分と同時に黒糖と塩の塊を手にして味見し、高校の野球部を指導する夫から熱中症で選手が倒れることを聞いていたため、ひらめいたもの。も

「スポーツミネラル」は水分と同時に黒糖と塩の塊を手にして味見し、高校の野球部を指導する夫から熱中症で選手が倒れることを聞いていたため、ひらめいたもの。も

「スポーツミネラル」は水分と同時に黒糖と塩の塊を手にして味見し、高校の野球部を指導する夫から熱中症で選手が倒れることを聞いていたため、ひらめいたもの。も

発 明

沖縄の技術

スポーツミネラル

くふう

● 465



近のマスコミ報道によると、各地でこの夏一番の暑さを記、熱中症患者が激増している。県内でも熱中症患者数が過去間で最悪のペースで増えてお、県は非常事態宣言まで出した。

ところで、沖縄市の主婦が設立「スポーツミネラル」社の眞玉橋麻紀社長は、高校生たちが部に熱中症で救急車で搬送されることが多いと聞き、その対策にミネラル塩を利用することを案じたという。

ミネラル含有量の多いことで知る「ぬちマース」と県産の粉

黒糖を主原料とする粉末タイプに仕上げ、写真のような一口サイズのアルミはく小袋に封入して、「スポーツミネラル」という商標で商品化した。

高校生たちがこの製品を部活の際に水で飲むようになってからは、熱中症も筋肉のけいれんもうそのように起きなくなったという。

キャンプで来県したプロ野球球団にこのスポーツミネラルを勧めたところ、中日ドラゴンズが採用しているという。6月の中日スポーツ紙は、製品の写真入りで、「夏場の選手を支える甘い塩」という見

沖繩市
眞玉橋麻紀さん

出して取り上げ、「今春の北谷キャンプ時から導入している。けいれんは水分不足と体の中の電解質のバランスが崩れることから起きる」とトレーナーのアドバイスを載せている。

眞玉橋社長は、激しいスポーツ時だけでなく、最近のように熱中症が多発する時期には、このスポーツミネラルを水で飲んで塩分を補給してほしい、と呼び掛けている。

7月に開いたラジオ放送でも熱中症を取り上げ、「食塩は悪者にされているが、熱中症の場合には塩分が欠かせない」と警告していた。熱中症予防に有効な発明品が地元にあることを知ってほしい。特許・商標出願中。

熱中症の予防に効果

日曜発明教室会員 眞玉橋麻紀
沖縄市比屋根1の11の17 電話
098(930)5589 ※日曜発明教室
(県工業教育研究会後援)は毎月
第1日曜日午後1時・沖縄産業支
援センターで開催、無料。

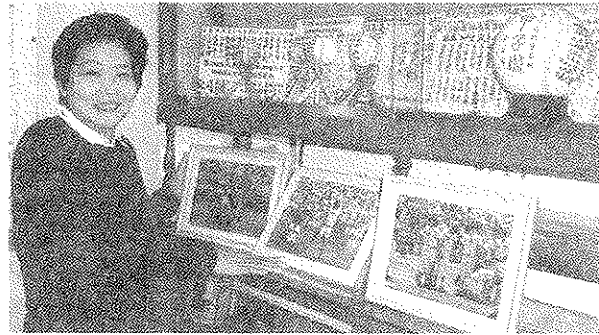
第76回センバツ大会



⑤

神戸市中央区の旅館「宝月」は81年に甲子園出場チームの受け入れを始め、86年夏からは沖縄球児の定宿だ。おかみの正垣和子さん(57)は、選手が風邪をひかないよう空温をこまめに調節したり、沖縄料理をメニューに加えたりと気

沖縄球児の定宿、旅館「宝月」おかみ、正垣和子さん(57)



が、修理には多額の費用がかかる。営業面の不安もある。「もう無理かも」。無事だった球児の写真やサイン色紙を掲げながら、そう思った。

と再開を望む声や寄付も相次ぎ、正垣さんらの再建意欲を呼び起した。

宝月は1年半後に再開、97年春から再び球児を受け入れ始めた。98年春には、ついに念願がかなった。沖縄高学のセンバツ優勝。沖縄勢の甲子園制覇は春夏通じて初の快挙だった。「旅館を続けて本

泣き笑い、選手と一緒に

を配る。球児に「おばさん」と慕われる正垣さんは一度だけ、旅館を廃業しようと考えたことがある。95年1月の阪神大震災。激しい揺れで建物は半壊。従業員は無事だった

高野連関係者が沖縄から安否確認に来てくれた。空路入りした大阪からは徒歩だった。ガスボンベや野菜を持って来てくれた人もいた。「宝月はウチナンチュ(沖縄の人)の心の古馬場やめないで」

「一緒に泣いたり選手といると同じ十分になれる」。ホテ高校も増えたが、選陣離が近く、アツク気は旅館ならでは。高校生に戻れなくない。それまでは選張りたいては素直な

文・写真

島田 栄光の道

試合前の練習で、たっぷりと汗をかいたイバン・クルーズ一塁手(35)がペットボトルの水と一緒に口に「顆粒(かりゅう)」がある。

「甘くて、それでいてしょっぱいんだよ。たくさん汗をかいた時に水と一緒に飲むんだ。クルーズが口にしているのは「スポーツミネラル」と名付けられ、今春の北谷キャ

ムプ時から中田が導入した「沖繩製」の特別な塩だった。

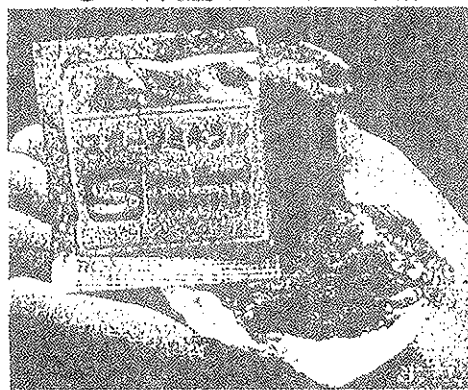
塩は普通白いが、この塩は茶色。「沖繩産の黒糖が入っているんです。塩も沖繩の海水から作っており世界で一番ミネラルが豊富な塩なんです。黒糖にもミネラルがいっぱい含まれているので

「す」と藤田チーフトレーナーが説明する。試しに記者もなめてみた。確かに甘じょっぱい。

沖繩県沖繩市の製造元の真玉橋麻紀代表(34)は「塩は露状にして結晶にしているんです。だから海水のままのミネラルが含まれているんです。黒糖はミネラルに加え、

夏場の選手を支える「甘い塩」

クルーズが毎日愛用している、沖繩産のスペシャル塩



ビタミン類も入っています」と力説する。

真玉橋代表は昨年10カ月間、沖繩県の高校野球部に塩を提供し、部員に

「毎年ことから起きる」と田トレーナー。十分水分に加え、ミネラルの補給がけいれんの防につながる。

季節は梅雨。梅雨あければ、暑い夏がやって来る。山田久吉(54)は「休養も大事だけど、練習で」と反駁。

「けいれんは水分の不足と、体の中の電解質のバランスが崩れる

「けいれんは水分の不足と、体の中の電解質のバランスが崩れるのを防ぐために、汗をかいたら、まは水分の補給だ。い塩は乾いた電解質の体に貴重なミネラルを運び、阪神追撃へ力を生む。」

(島崎勝彦)

山田寛栄光の道

▶64◀

ビタミン類も入っている」と力説する。

眞玉橋代表は昨年10カ月間、沖縄県の高校野球部に塩を提供し、部員に

「必ずけいれんを起す部員がいたが、昨年は1人もいなくなったという。クルーズがこの塩を取

り取してもらった。毎年田トレーナー。十分水分に加え、ミネラルの補給がけいれんの防につながる。

季節は梅雨。梅雨

試合前の練習で、たつぷりと汗をかいたイバン・クルーズ一塁手

（35）がペットボトルの水と一緒に口にしている。

「甘くて、それでいてしょっぱいんだよ。たくさん汗をかいた時に水と一緒に飲むんだ。クルーズが口にしているのは「スポーツミネラル」と名付けられ、今春の北谷キャ

「類粒（かりゅう）」がある。

「甘くて、それでいてしょっぱいんだよ。たくさん汗をかいた時に水と一緒に飲むんだ。クルーズが口にしているのは「スポーツミネラル」と名付けられ、今春の北谷キャ

「甘くて、それでいてしょっぱいんだよ。たくさん汗をかいた時に水と一緒に飲むんだ。クルーズが口にしているのは「スポーツミネラル」と名付けられ、今春の北谷キャ

「甘くて、それでいてしょっぱいんだよ。たくさん汗をかいた時に水と一緒に飲むんだ。クルーズが口にしているのは「スポーツミネラル」と名付けられ、今春の北谷キャ

「甘くて、それでいてしょっぱいんだよ。たくさん汗をかいた時に水と一緒に飲むんだ。クルーズが口にしているのは「スポーツミネラル」と名付けられ、今春の北谷キャ

「甘くて、それでいてしょっぱいんだよ。たくさん汗をかいた時に水と一緒に飲むんだ。クルーズが口にしているのは「スポーツミネラル」と名付けられ、今春の北谷キャ

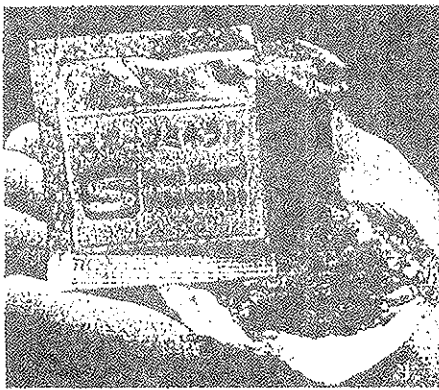
「甘くて、それでいてしょっぱいんだよ。たくさん汗をかいた時に水と一緒に飲むんだ。クルーズが口にしているのは「スポーツミネラル」と名付けられ、今春の北谷キャ

「甘くて、それでいてしょっぱいんだよ。たくさん汗をかいた時に水と一緒に飲むんだ。クルーズが口にしているのは「スポーツミネラル」と名付けられ、今春の北谷キャ

「甘くて、それでいてしょっぱいんだよ。たくさん汗をかいた時に水と一緒に飲むんだ。クルーズが口にしているのは「スポーツミネラル」と名付けられ、今春の北谷キャ

夏場の選手を支える「甘い塩」

クルーズが毎日愛用している、沖縄産のスペシャル



「甘くて、それでいてしょっぱいんだよ。たくさん汗をかいた時に水と一緒に飲むんだ。クルーズが口にしているのは「スポーツミネラル」と名付けられ、今春の北谷キャ

「甘くて、それでいてしょっぱいんだよ。たくさん汗をかいた時に水と一緒に飲むんだ。クルーズが口にしているのは「スポーツミネラル」と名付けられ、今春の北谷キャ

（島崎勝彦）